

第 58 回 通常 総 会 議 事 録

東京都新宿区津久戸町 4 番 6 号
公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

日 時：平成 29 年 5 月 26 日（金） 15:30～17:25

場 所：東京都千代田区九段北 4-2-25 アルカディア市ヶ谷（私学会館）

1. 開 会

西垣専務理事が開会を宣言し、出席正会員は委任状とも 1,532 名であり、定款第 17 条に規定する、正会員総数 2,458 名の 2 分の 1 以上の出席を得ているので、本総会は成立する旨報告があった。

2. 出席役員

会長：西山峰広、副会長：宇治公隆、手塚正道、専務理事：西垣義彦、
常務理事：井上 晋

理事：阿波野昌幸、大石龍太郎、大島健志、太田 誠、岸本一蔵、下村 匠、
玉井真一、堤 忠彦、深井 悟、前田晴人、宮川豊章、山田真人、
山村正人の各理事

監事：大西睦彦、河瀬日吉、西尾浩志

顧問：池田尚治

3. 西山会長挨拶（要旨）

公益社団法人プレストレストコンクリート工学会は、1958 年にプレストレストコンクリート技術協会として設立され、58 回目の通常総会を迎えた。会の目的を「プレストレストコンクリートおよびコンクリート構造に関する学術と技術の進歩、ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に寄与する。」とし、一層の会員の皆さまのご支援をお願いする。

本工学会の活動は、PC に関する技術規準等の発刊、会誌「プレストレストコンクリート」の年 6 回の発行、全国主要都市 9 箇所における「プレストレストコンクリート技術講習会」の開催、そして年次大会である「プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」の開催、ならびに「プレストレストコンクリート技士」、「コンクリート構造診断士」の技術者資格認定事業である。これらの活動が年々充実してきたことは、会員各位、関係各位のご支援、ご協力によるものと厚く御礼申し上げます。

さて、昨年、今年と会誌「プレストレストコンクリート」1 号の巻頭言に会長とし

て、P C工学会はどのように歩いていくべきか、4つの課題を掲げさせて頂いた。

一つ目は、「プレストレストコンクリートのさらなる普及と教育」である。全国9地域に地域担当としてお願いしている先生方とともに、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会と連携して現場見学会や専門家派遣授業により、P Cの普及活動に取り組み、現在、土木・建築系合わせて全国に130名あまりの先生に会員になって頂いている。さらに大学、高専の先生方に入会を勧めていきたい。

二つ目は、「会員数の増加」である。平成26年度に設置した会員増加推進小委員会の活動により、減少傾向に歯止めがかかり、徐々に増加に転じている。より多くの個人正会員、学生会員の入会を目指して、プレストレストコンクリートに魅力を感じ、多くの方が会員となり、より一層活発な学会活動を目指す必要がある。平成29年3月末現在、本工学会の会員数は、個人正会員2,416名、法人正会員42名、賛助会員71名である。昨年に比べ、個人正会員が18名、法人正会員が1名、賛助会員が3名の増加となっている。

三つ目は、「国際化および海外学協会との交流」である。さらに国際化を進め、日本のP C技術および関連技術を世界に発信し、また、日本の研究者、技術者を啓発する必要がある。

四つ目は、「活動範囲の拡大」である。プレストレス、プレキャストの有効利用による適用拡大、耐震、維持管理、耐久性といった要求に応え、社会に貢献できるよう、活動範囲も広がっていかねばならない。本日、サステナビリティ社会に向けたプレストレストコンクリートの役割、課題、目指すべき方向、活動について「プレストレストコンクリートサステナビリティ宣言」を冊子にして公表させて頂いた。

本年2月、国土交通省制定の技術者資格として、コンクリート構造診断士が一昨年の第1回登録「コンクリート橋」に続き、「トンネル」の点検・診断業務を行う担当技術者として新たに追加登録された。国家資格であるプレストレストコンクリート技士、コンクリート構造診断士の活躍がますます期待される。引き続きご支援を賜りたい。

今年の技術講習会は、「生産性向上と維持管理・更新の時代に求められるP C技術」を総合テーマとして6月に開催する。シンポジウムは、10月26日(木)・27日(金)の2日間にわたり、神戸市で開催する予定である。

本日は、平成28年度の活動を総括する機会です。各議案について活発なご議論、ご審議を賜り、併せて議事の進行について、ご協力のほどをお願い申し上げます。

4. 議長選出

西垣専務理事から本総会の議長は定款第15条により、会長がこれに当たるとの説明があり、西山会長を議長とした。

5. 議事録署名人の指名

議長発言にて、定款第19条の規定では、議事録署名人は、議長および議長が指名

する出席者2名以上としている旨、説明があり、次の両氏が指名された。

宇治公隆氏 手塚正道氏

6. 議 事

第1号議案 平成28年度事業報告

議長より手塚副会長が指名され、本日配布の議案説明が行われた後、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第2号議案 平成28年度収支決算報告

議長より西垣専務理事が指名され、まず平成28年度収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、および財産目録に関し説明があった。

さらに、河瀬監事から監査の結果、何れも適正且つ妥当であった旨の監査報告、ならびに本決算報告について茂利公認会計士のご指導を受けたとの報告があり、議場に諮った結果、原案どおり承認議決された。

第3号議案 役員改選

議長より本工学会の役員の改選については、毎年約半数の改選が行われ、新任ならびに再任役員の選任については、総会の承認を要する旨の説明があった。

すなわち、本通常総会の終結をもって理事 大石龍太郎、大島健志、太田 誠、春日昭夫、玉井真一、堤 忠彦、西山峰広、二羽淳一郎、睦好宏史、山田真人および監事大西睦彦、西尾浩志の任期が満了したため、次に示す表により理事および監事を選任したい旨を議場に諮った結果、満場一致で承認議決された。

新任・再任役員

理 事	大 石 龍太郎 (再任)
同	大 島 健 志 (再任)
同	太 田 誠 (再任)
同	春 日 昭 夫 (再任)
同	玉 井 真 一 (再任)
同	堤 忠 彦 (再任)
同	西 山 峰 広 (再任)
同	二 羽 淳一郎 (再任)
同	睦 好 宏 史 (再任)
同	山 田 眞 人 (再任)
監 事	大 西 睦 彦 (再任)
同	西 尾 浩 志 (再任)

継続役員

同	阿波野 昌 幸
同	井 上 晋
同	宇 治 公 隆
同	岸 本 一 蔵
同	下 村 匠
同	手 塚 正 道
同	西 垣 義 彦
同	深 井 悟
同	前 田 晴 人
同	宮 川 豊 章
同	望 月 秀 次
同	森 拓 也
同	山 村 正 人
監 事	河 瀬 日 吉

議長発言にて、続いて行う第1号報告の平成29年度事業計画および第2号報告の平成29年度収支予算については、3月10日に開催した第602回理事会において、審議の上、承認されている旨、報告があった。

第1号報告 平成29年度事業計画

議長より宇治副会長が指名され、平成29年度事業計画の説明があり、了承された。

第2号報告 平成29年度収支予算

議長より西垣専務理事が指名され、平成29年度収支予算書に関し説明があり、了承された。

7. 名誉会員推挙

議長より、本会ならびにプレストレストコンクリート技術の普及と進歩発展のため、長年にわたり功績を残された方を名誉会員に推挙しているとの説明があった。本年度の候補者として魚本健人氏、則久芳行氏、藤田堯雄氏が披露され、総会に諮った結果、満場一致で名誉会員への推挙が承認され、西山会長より推挙状が贈呈された。

8. プレストレストコンクリート工学会賞授与

西垣専務理事の司会で、平成28年度プレストレストコンクリート工学会賞の授与が行われた。

工学会賞の授与に先立ち、工学会賞選考委員会二羽委員長の代理として下村選考委員から、平成28年度工学会賞選考経過の説明、受賞候補者選考理由について説明がなされた。

その後、西山会長から次に示す各賞の贈呈が行われた。

○論文部門（賞状と記念品）

- 二方向の変形を考えた場合のPC柱断面の損傷度に関する考察 (会誌第58巻4号) 米澤 哲尚 殿
岸本 一蔵 殿
- 超高耐久橋梁の開発と実証橋の施工 (会誌第58巻2号) 緒方 辰男 殿
大城 壮司 殿
永元 直樹 殿
片 健一 殿

○作品部門（賞状と記念盾）

- 新名神武庫川橋 西日本高速道路(株) 関西支社 殿
三井住友建設(株) 殿

● 日亜化学工業 諏訪技術センター
日亜化学工業(株) 殿
(株)竹中工務店 殿

● 愛知総合工科高等学校
愛知県 殿
(株)久米設計 殿
戸田建設(株) 殿
名工建設(株) 殿
(株)ピーエス三菱 殿

● 愛知県警察本部庁舎本館
(改築・改修)
愛知県警察本部 殿
(株)日建設計 殿
鹿島・徳倉建設共同企業体 殿
(株)ピーエス三菱 殿

● 首都高速 1号羽田線 勝島地区橋梁
(改築・改修)
首都高速道路(株) 殿
(株)ピーエス三菱 殿
(株)日本設計 殿

○技術開発部門 (賞状と記念盾)

● 光ファイバを用いたPC張力計測システム
鹿島建設(株) 殿
住友電工スチールワイヤー(株) 殿
ヒエン電工(株) 殿

● プレストレスを導入した木圧着ブレースによる耐震補強工法
熊谷 孝文 殿
松田 拓己 殿
奥野雄一郎 殿
大野 正人 殿
山下 靖彦 殿
張 之隼 殿
畔柳 歩 殿
上角 充広 殿

● PC中間定着工法 (アイ・フィクス)
川田建設(株) 殿

○施工技術部門 (賞状と記念盾)

● 新名神高速道路 朝明川橋他1橋 (鋼・PC複合上部工) 工事
中日本高速道路(株) 名古屋支社 殿
(株)IHIインフラシステム・川田工業(株)・川田建設(株)特定建設工事共同企業体 殿

9. 受賞者代表挨拶

受賞者を代表して、論文部門については㈱環境総合テクノス 米澤哲尚氏、作品部門では西日本高速道路㈱ 前原直樹氏、技術開発部門では鹿島建設㈱ 曾我部直樹氏、施工技術部門では川田建設㈱ 東 義隆氏からそれぞれ受賞に対する謝辞と、なお一層P C技術の啓発と発展に努力したい旨等のご挨拶があった。

10. 閉 会

西垣専務理事が閉会を宣し、第58回通常総会は滞りなく終了した。

平成29年5月26日

公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

議長・会長 西 山 峰 広 印

署 名 人 宇 治 公 隆 印

署 名 人 手 塚 正 道 印